スカウトみやぎ

2019／7．1
No.50

そなえよつねに
ボーイスカウト

理事長挨拶

ボーイスカウト宮城県連盟
理事長　菅　野　五　郎

宮城県連盟創立70周年記念県キャンポリーを皆さんのご協力で成功させましょう！！

三指礼、去る５月１１日、１２日の年次総会において、理事長に選出いただきました、石巻第６団の菅野五郎です。

私はボーイスカウト経験は浅いですが、理事、コミッショナー、各種委員会の皆さんは何事にも前向きに協力に進める優秀な方々ですので、加盟団のご協力を得て各種事業を強力に進めて参る所存であります。

特に最大の事業は県連盟創立７０周年記念県キャンポリーであります。この事業は県教育委員会や東松島市、松島自然の家などのご協力をいただき“ボーイスカウトらしさ”を発揮し、安全第一に実施する所存ですので加盟団全員のご協力をお願いします。　弥栄

{各種表彰}　＊令和元年度総会時に表彰

☆県連盟褒状（スカウト）
泉第１団・渡辺麗心
仙台第３７団・守　晋平
石巻第２団・富士原睦矩
☆県連盟有功賞
仙台第１団・佐藤憲明
鹿島台第１団・安倍毅彦
鹿島台第１団・吉岡長一
石巻第６団・蟻坂隆
☆県連盟盟褒状（指導者）
石巻第６団・小松泰治
☆県連盟感謝状（追贈）
塩釜第１団・中鉢　宏

☆県連盟盟褒状（団）仙台第２８団／仙台第３５　団／泉第１団／塩釜第１団／塩釜第３団／鹿島台第１団
☆ボーイスカウト振興国会議員連盟表彰　仙台第２８団・佐藤浩伸
☆日本連盟功労章（たか章）塩釜第１団・千葉義博☆日本連盟功労章（かっこう章）鹿島台第１団・鈴木美恵子☆日本連盟感謝状　佐藤友秀
☆日本連盟褒状（隊長表彰）仙台第１団・佐藤有一／石巻第２団・立野有美・青木儀則／石巻第６団・渥美眞佐男

障がいを持つ青少年の理解と支援セミナーに参加して

第２８団ビーバー隊長　清水美香

平成３０年１２月２２～２３日に、国立磐梯青少年交流の家で開催されたセミナーに参加しました。

このセミナーは、福島県で開催予定の『第１３回日本アグーナリー』に向けて、身体的または発達段階に支援を必要とする青少年に関わるための、知識と支援や共生を図る方法について学ぶもので、全国から５０名以上が集まりました。

１日目は東京連盟所属の埼玉大学教授櫻井康博さんから、障がいとそのとらえ方についての講義があり、その種類は多岐である事、特に子供は自身の持つ障がいが家庭・家族・学校・教員・施設・地域といった環境因子の影響を大きく受けて成長・発達していくという事を学びました。

子供により良き環境を作るために周りの大人の関わりとして、成長段階や特徴を理解し、注意や否定の言葉をできるだけ使わず、意図的にポジティブに伝える配慮が重要である事をあらためて認識しました。

次に福島県連盟所属の安藤俊典さんから、福島県の特別支援学校の紹介の後に、車椅子乗車と視覚障がいの体験をしました。車椅子を押してもらう、目隠しをして誘導スロープを昇降するという体験では、怖いという感想が多く聞かれ介助や誘導は、相手に不安を与えないように行う必要があると感じました。

２日目は神奈川県連盟所属の玉川大学教授安藤正紀さんから「発達障がい児への理解と対応」「合理的配慮とは」のテーマで、人間の脳内の認知についての説明と安藤さん自身の隊長としての経験を例にした、発達障がい児への実際の配慮について学びました。また、安藤さんがＮＨＫ教育テレビの『バリバラ』に出演された回の出演者の発達障がいの特性と、その対応に必要な配慮についての詳しい解説を聞く事もできました。

今回は特別支援教育の教員経験者の３人から、学生が学ぶ事の基礎と今後のスカウト活動の中で活用できる手法も学び、障がいの体験もできた実り多い研修でした。　皆さんも障がいへの理解を深めるために、来年開催される日本アグーナリーに参加しましょう。

東　部　地　区　の　活　動

東部地区創立５０周年記念大会

平成最後の４月２９日から３０日に、日本ボーイスカウト宮城県連盟東部地区協議会の創立５０周年記念大会を、鹿島台学童農園で開催しました。

大会初日は青空の下でＢＳ・ＶＳ・ＲＳと大会スタッフが集合し、ＢＳスカウト（２２名）は、４班編成で開会セレモニーを行った後、野外活動フィールドにマーキーテント等を設営して、翌日の準備作業行いました。夕食後は、記念講演やカウツヤーンの話を聞き、最後にＢＳの各班毎に「５０年後のボーイスカウト」のテーマで、発表してもらい初日の行事を終えました。

２日目は朝からの雨で、全ての行事は宿営ハウス内に変更となり、ＢＶＳ・ＣＳスカウト達が会場に到着する前に、野外活動フィールドのテント等を宿営ハウスの近くに移動し、野外活動フィールドでのプログラムや大昼食会が宿営ハウスへの変更となり、その準備は大変でしたが、日々の活動で培われたスカウト・スタッフの力で無事スカウト達が会場に到着する前に作業を完了しました。

ＢＶＳ・ＣＳスカウト達も雨の中、指導者に付き添われて会場に到着し、宿営ハウス内での記念式典となりました。

今大会のシンボルである赤い記念キャップを全員でかぶり、式典にのぞみ、終了後は地区のＢＶＳ・ＣＳ・ＢＳ隊に分かれ、各々のプログラムを屋内で展開しました。昼は今大会のメインイベント「大昼食会」です。腕によりをかけた各団自慢の食事メニューを提供し、それぞれの料理を美味しく頂きました。

大昼食会を済ませ、お腹が落ち着いたところで閉会式に移り弥栄三唱で記念大会を終えました。

仙台27団の活動

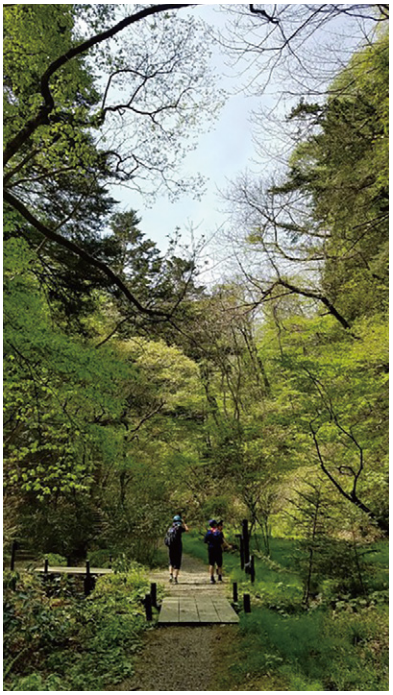
ボーイスカウト仙台２７団は、大崎八幡宮を活動拠点とする神社スカウトである。
仙台市内を中心に、アウトドアのスカウト活動や、地域奉仕活動をメインに行っている。
現在、団員は、指導者６名、スカウト５名の１１名である。

仙台２７団の活動の特徴としては、神社スカウトとして、大崎八幡宮のイベントや地域行事に多く参加することが挙げられる。新年の祈祷、餅つきに始まり、例大祭や、チャリティへの出店、地域イベントの手伝いや参加・見学など、地域に根ざした活動に参加することが多い。また、宿泊施設での泊りがけの野外活動や、社会見学などがメインの活動である。

限られた規模ながら、のびのびとした雰囲気で、スカウトの自主性や好奇心を刺激する、枠にとらわれない自由な団活動を目指している。
以下団活動の様子である。

＜新年の餅つきの様子＞
スカウトはお祭りによく参加する。地域の参加者と、お神輿を担いで町内を巡ったり、ご祈祷を受け、保護者やリーダーと共にお餅をついたり、豚汁をふるまったりする。スカウトや、お祭りの参加者がついた餅や豚汁は、チャリティのためふるまわれ、災害復興支援などのための募金となる。餅は毎年、一瞬でなくなる。

＜東北大学植物園＞
ものすごい花粉で、ネッカチーフで顔を覆って歩くスカウトもいた。



仙台第３７団の活動

ボーイスカウト仙台第３７団
吉田幸弘

東仙台カトリック教会に本拠地を置くボーイスカウト仙台第３７団は来年発団５０周年を迎えます。現在、スカウト７名（カブ１名、ボーイ１名、ベンチャー３名、ローバー２名）と小規模ながら、スカウトは菊章、隼章、富士章の課題に向けて技能向上に取り組んでおります。

育成団体がカトリック教会という事で、ミサの他に教会関係での奉仕があります。教会主催のバザーや３０年以上ご縁がある老人ホームに行き、慰問クリスマス会開催等を通してボーイスカウトの奉仕の心をスカウトたちは養っております。

スカウトは技能章取得にも研鑽しております。ここで３７団の特異なプログラムをご紹介します。技能章の中で漕艇章という章があります。この漕艇章は仙台地区では３７団が取得している団と確認しております。章取得の為、毎年５月のゴールデンウィークや７月には志津川自然の家に行っており、今年で４０回以上訪問しております。その志津川自然の家の中でシーカヤックのボートや１０名以上が乗れるカッターという船に乗り、長さが２ｍ以上ある大きな櫂を使ってスカウトは掛け声を出し合いながら、カッターを動かしました。

尚、菊スカウトの面接を受けるスカウトにはこの漕艇章を取得して面接に臨ませております。

今年ビックニュースがあります。スカウト３名が菊スカウトに合格しました。このビックニュースを継続して出せれるよう努めますので、スカウトの皆さん是非、一度東仙台カトリック教会のボーイ広場に遊びに来てください。

第９回アジア太平洋地域
スカウトユースフォーラム

仙台第２８団：尾形凛太郎

昨年１０月、フィリピンにて第９回アジア太平洋地域スカウトユースフォーラムが開催され、２７の連盟１２５名のローバースカウトが集い、実りある４日間を経験しました。

１６０カ国以上の国々で展開されている、世界最大の教育運動であるスカウト運動は現在ＡＰＲにおいてその興隆を見せ、多様性と包含という考え方のもと、トピックに関する話し合い、ＡＰＲ会議へのユースからの提言作成、地域ユース代表６名の選出などを行いました。

いうまでもなく、スカウト運動とは、野外活動を手段とした青少年少女教育のことであり、その最大の目的は、社会において積極的な市民となり、幸せに生きることであります。累進的に部門が構築されており、その中でもローバースカウト部門とは、スカウティングにおける最終段階で、スカウト運動の狙い、目的、スカウト教育法に基づいた活動手法など全てにおいて「まとめ」となる時期です。

ローバースカウトは、自らを、自らが、自らのために、成長させるのです。スカウト教育の極限であり、進級課題を自ら発見していく部門がローバースカウト部門です。成人指導者はこの思考に基づき、支援が必要ならば支援をするべきであり、ベンチャースカウト部門でスカウト教育が完結しない最大の理由です。

「ローバー」とは、さまよえる人という意味であり、まさにさまよった結果が国際派遣だったように感じます。日本のスカウト運動が抱える様々な問題を国外の視点から鳥瞰し、それに対する自らがすべきアクションを発見すること、その発見を通した成長こそが自身の進級課題であり、達成できたように感じます。

ボーイスカウト募集中

なろう。一人前に。一人前って意外とむずかしい。
自分のことは自分でする。困難に立ち向かえる。
こまってる人の助けになる。そんな自分になるために。
そなえよつねに“ボーイスカウト”

保護者の皆様へ

ボーイスカウトとは、仲間たちと自然の中で遊びながら、いろいろなことを身につけて、より良き社会人を目指す活動です。

お問い合わせ先

◆県連ホームページタスクチームからのお知らせ

自団の活動を保護者や外部の方々にお知らせするにはホームページやフェイスブック、インスタグラムなどのＳＮＳが有効です。ただ、スカウト年代の保護者に向けてのアピールはスマホでも見られるフェイスブックやインスタグラムが特に有効です。
まだ作成していない団は広報の一環として、ぜひ作成してみてください。そして作成後はシェアして拡散しますので、県連にお知らせくださいますようにお願いいたします。
Facebook の情報もご覧頂き「いいね！」「シェア！」を拡散してください。

◇　県連ＨＰ　http://www.scout-miyagi.jp/
◇　県連 Facebook　ボーイスカウト宮城県連盟

■編集後記

◇今年度の総会で委員の交代がありました。退任された委員に感謝いたし、新メンバーへのご指導をお願いします。

◇さて、いよいよ「県キャンポリー」が始まります。大会中はインスタグラムで大会の様子を、発信しますのでご期待下さい。それでは、松島でお会いしましょう。　　K・S

■表紙写真説明

◇名取第１団・花山自然の家
◇石巻第６団・ヤッホウサイクリング
◇白石第１団・白石市こどもまつり

■発行　日本ボーイスカウト宮城県連盟
■発行者　理事長　菅野五郎
■編集　宮城県連盟組織拡張広報委員会
委員長　佐竹孝喜
委　員　和田剛和　松本康男
富士原孝一　鈴木史明
渋谷純

〒 985-0841
宮城県多賀城市鶴ヶ谷１丁目４番１号
（宮城県多賀城分庁舎内）
TEL 022-355-6265 / FAX 022-355-6267
E-meil bs-miyagi@r6.dion.ne.jp